

## アイダとオペラの基本知識

※次の [ ] 欄に下記の語群から適語をえらび入れなさい。

語群 夏、冬、アクトパッチーム、軍隊、合唱団、バレエ団、アンサンブル  
ワーグナー、ハイドン、ブラームス、ショパン、シューマン、ドイツ、  
フランス、イタリア、初期、中期、後期、電話帳、百科辞典、男、女、子供  
幽霊、黒人、屋外、ピット、悲劇、喜劇、時代劇  
1、2、3、4、17、18、19

日本では考えられないほどオペラはヨーロッパでは広く位置付いており、いわゆるインテリや金持ちは必ずオペラの知識をもっている。(そこがマフィアとやくざの違いだ。)川崎クラスの都市ではかならずオペラハウスがあって [ ] のオペラシーズンでは、毎日のようにオペラが演奏されている。

オペラはとにかく金がかかる。舞台や衣装、オーケストラだけでなく [ ] や [ ] もオペラハウスとしてはかかえていなくてはならないのでそれもしかたがない。しかし国や都市などの保護で演奏会の入場料は日本では考えられないくらい安い。日本で海外からくる一流のオペラ公演では2~5万円の入場料が必要なのは、賭費用を考えればやむをえないがそれを聴衆からだけ集めていることに無理がある。

オペラはヨーロッパの作曲家にとって重要なジャンルでオペラを作曲していない有名な作曲家は少ない。シューベルトもドヴォルザークもチャイコフスキーもオペラを作曲している。オペラを作曲していないのは [ ] や [ ] くらいだ。ロマン派のオペラの全盛期は [ ] 世紀末に、2人の作曲家によって築かれた。それはヴェルディと [ ] の2人である。当時の作曲家でこの2人の影響を受けなかった人は誰もいない。

アイダは世界での演奏回数も多い主要なオペラだが、 [ ] の作曲家 ヴェルディの [ ] の作品でオペラの [ ] と呼ばれている。その理由は、ありとあらゆる内容が作品にもりこまれているからである。オペラには主役(たいてい男と女)のアリアや2重唱は当然あるのだが、それ以外の要素はあつたりなかつたりする。この作品ではバレエ音楽も [ ] フィナーレ(数人による一人ずつは違う歌詞で歌うエンディング)もグランドオペラ( [ ] 人好みのスペクタクル)の要素ももりこまれている。

アイダは主役の [ ] の名前、主役が [ ] であることに特徴がある。アイダは、若い将軍と王女、恋敵で国の敵でもある奴隷の女との三角関係を中心とする [ ] で、有名な凱行進曲は第 [ ] 幕のエンディングであり、大勢のエキストラ等を使って壮麗にもりあげる演出が一般的である。そういうスペクタクルな場面が重要なオペラでは [ ] (湖の上にセットを作るとか、古い闘技場など)で演奏されることも多くアイダはとくにそういう例が多い。凱行進曲でつかわれるエジプトトランペットは、この作品のために作られるトランペットで、ロータリーのついたファンファーレ用ストレート(巻きの無い長い)トランペットである。オペラではオーケストラは [ ] という舞台の前の狭い部分で演奏するので、舞台の上に設定されているバンドもエジプトトランペットも通常のオーケストラでないところから音楽がでてくることになるので、効果的である。